

令和5年第2回亀岡市議会定例会9月議会一般質問

亀岡市議会

令和5年第2回亀岡市議会定例会9月議会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者		質問方式	
9月5日(火)	10:00～	個人	1 浅田 晴彦	一問一答	
	10:45～		2 片山 輝夫	一問一答	
			休憩		
	13:00～		3 林 徹司	一問一答	
	13:45～		4 土岐 新	一問一答	
			休憩		
	14:45～		5 法貴 隆司	一問一答	
15:30～	6 梅本 靖博	一問一答			
9月6日(水)	10:00～	個人	7 大塚 建彦	一問一答	
	10:45～		8 三上 泉	一問一答	
			休憩		
	13:00～		9 山本 由美子	一問一答	
	13:45～		10 竹内 博士	一問一答	
			休憩		
	14:45～		11 大石 慶明	一問一答	
15:30～	12 山木 裕也	一問一答			
9月7日(木)	10:00～	個人	13 齊藤 一義	一問一答	
	10:45～		14 大西 陽春	一問一答	
			休憩		
	13:00～		15 富谷 加都子	一問一答	
	13:45～		16 小林 仁	一問一答	
			休憩		
	14:45～		17 原野 実生子	一問一答	
15:30～	18 平本 英久	一問一答			
9月8日(金)	10:00～	個人	19 福井 英昭	一問一答	
	10:45～		20 木村 勲	一問一答	
			休憩		
	13:00～		21 西口 純生	一問一答	
13:45～	22 松山 雅行	一問一答			

【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

令和5年第2回亀岡市議会定例会9月議会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	浅田 晴彦 9月5日(火) 10:00~ ※一問一答	1 京都府総合 防災訓練につい て 2 保育士確保 に向けた取組に ついて 3 川東地域の 臭気問題につい て 4 通学路の安 全対策について	<p>近年、気象変動による災害発生が増加や激甚化等が懸念されている中で、大規模な地震と水害の複合災害を想定して実施された京都府総合防災訓練について問う。</p> <p>(1) 訓練内容の詳細は。</p> <p>(2) 関係団体や地域住民を含めて、どのくらいの方が訓練に参加されたのか。</p> <p>(3) 市内の各自治会や保津小学校では、それぞれの地域環境に合わせた訓練が実施されたが、混乱なく行われたのか。</p> <p>(4) 防災関係機関や地域住民が一体となった総合的な訓練であったが、どのような成果が得られたのか。</p> <p>亀岡市内の保育所等で仕事をされる保育士の人材確保に向けた取組について問う。</p> <p>(1) 本市における保育士不足の現状は。</p> <p>(2) 保育実習を希望される学生の間合せ窓口を統一することはできないか。</p> <p>(3) 保育関連の大学や専門学校に対して積極的に広報や募集活動を行い、しっかりと連携を図る必要があると考えるがどうか。</p> <p>(4) 市職員の定数枠から保育士を分けて個別に管理することで、保育士確保につなげられないか。また、これにより一般職、保育士とも、適正な人員による効率のよい業務遂行が進むと考えるがどうか。</p> <p>川東地域の課題である臭気問題については、毎年地域こん談会に取り上げられる喫緊の環境問題であり、特に、亀岡市土づくりセンターに隣接する養豚場の臭気が問題となっている。</p> <p>(1) 養豚場の施設内にある沈殿槽の清掃作業と適正な施設管理の要望が出ているが、その後の対応や清掃作業は進んでいるのか。</p> <p>(2) 旭町や馬路町池尻区でも隣接市からの臭気により、窓を開けられない状況が続いているが、この問題に対して、土づくりセンターで効果のあったバイオリキッドを使用し臭気対策してもらうように亀岡市から要望できないか。</p> <p>亀岡川東学園の児童生徒が市道川東線を通学路として利用しているが、地元PTAや保護者から、通学路の安全対策として一部の区間に街路灯を設置してほしいとの要望が出ている。</p> <p>(1) 平の沢池中池の北側付近からなごみの里に</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>

		<p>5 市庁舎の冷房について</p> <p>6 庁舎内のベルマーク運動について</p>	<p>向かう約200メートル間の歩道に、安全対策として街路灯を設置することはできないか。</p> <p>近年、異常気象で酷暑が長く続いている状況にあるが、市庁舎では空調設備が老朽化し、特に2階以上のフロアで冷房の効きがよくないと感じている。</p> <p>(1)市役所を訪れた市民が不快と感じられるほか、職員の健康確保や業務効率にも影響が生じると考えるが、改善する考えは。</p> <p>全国的にベルマーク運動が伸び悩んでいると聞かすが、この運動で収集されたベルマークは、未来を担う子どもたちの学習教材や教育備品などの購入に活用されており、大変意義ある運動であると考えます。</p> <p>(1)現在、教育委員会が庁舎内の各フロアにベルマークの回収箱を設置しているが、市民や職員への周知を含めて、この運動を拡充していく考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
2	<p>片山 輝夫 9月5日(火) 10:45～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 桂川市政の4年間について</p>	<p>2期目4年間の桂川市政について、市民の評価は様々である。「何でもスタジアム、スタジアムばかり」「紙おむつ代出すより保育士増やして」「現場に何の相談もなく、いきなり施策が下ろされる」など、この間懇談した方々の声である。</p> <p>(1)環境先進都市の取組について、「亀岡の環境の取組は全国でも有名」と言われているが、スーパーやホームセンターではポリ袋が販売され、変わらずごみ袋として活用している家庭がある。全国初にこだわった亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例により、使い捨てプラスチックがどの程度減少したと認識しているのか。</p> <p>(2)まるごとスタジアム構想について問う。</p> <p>①京都スタジアムは完成後まもなく3年半を迎える。亀岡に計り知れない経済効果をもたらすと言われたスタジアムについて、今どのような検証を行っているのか。試合当日の宿泊客や、商店街の売り上げ比較などの具体的なデータはあるのか。</p> <p>②試合当日は、市民が買い物や車の送迎など、日常生活に支障をきたしている現状がある。頼政塚を中心とした市内の渋滞や不法駐車車の状況をどう把握しているか。</p> <p>③試合当日の近隣駐車場特別料金を、関係のない市民にまで適用することに不満が出ているが、認識しているか。</p> <p>(3)子どもファースト宣言について問う。</p> <p>①保育士不足により、0歳児保育から撤退する保育所が増える一方で、75年ぶりの保育士配置基準の改正により、新たに保育士の増員が求められる状況である。市の保育士の定数</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 会計年度任用職員の処遇について</p>	<p>管理はどうなっているのか。また、配置基準の改正による増員は、どの程度必要になるのか。</p> <p>②非正規の保育士が増える中、担任を受け持つ正規の保育士への過重な負担が問題になっている。正規の保育士確保に向け、これまでにない大幅な処遇改善が必要ではないか。</p> <p>③「子育て充実していると思っていたのに保育所落ちた」の声や、大井町や千代川町、篠町の新しい住宅地では、保育所への入所や給食費の負担など、子育てに対する不安の声を数多く聞く。保育士不足の中、市内0歳児の待機児童数は何人か。</p> <p>④子育て世代の流入が増える中、今後の保育児童数の動向をどう把握しているのか。また、その対応をどう考えているのか。</p> <p>(4) 地域公共交通について問う。</p> <p>①「バスの乗り継ぎが不便な上、お金も追加で取られる。おかしいのでは」との利用者の声が多い。今年度の見直しで、乗り継ぎなしの直通バス運行を検討しているのか。</p> <p>②コミュニティバスの逆回りコースは検討しているのか。</p> <p>会計年度任用職員の処遇については、地方自治法改正により、令和6年度から勤勉手当の支給が可能になるとともに、国から給与改定の実施時期を、常勤職員に準じて遡及改訂することを基本とするよう通知が発出されている。さらに、再度の任用についても、これまでの勤務実績で問題なければ、3年目の公募にこだわらなくてもよいとの通知も出されており、自治体の対応が問われている。</p> <p>(1) 勤勉手当支給を可能にするための条例改正はいつ行うのか。</p> <p>(2) 給与改定の4月遡及を可能にするためには、どのような手続きが必要になるのか。また、条例の縛りがあるならば、その改正はいつ行うのか。</p> <p>(3) 総務省通知の公募によらない再度の任用について、業務の必要性や継続性の観点からどのように運用すべきと認識しているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 保津橋上流の霞堤嵩上げについて</p>	<p>保津橋下流霞堤の1メートル嵩上げについては、令和4年度に4か所完成したが、その上流4か所については未着工の状況である。下流の水位が1メートル上がれば、上流霞堤からのこれまで以上の溢水が懸念され、これは市内で上下流のバランスが崩れた状態であり、洪水時に上流に被害を及ぼす危険度が高まっている。</p> <p>(1) 桂川・支川対策特別委員会でも霞堤嵩上げ箇所の現地視察をしたが、上流4か所の工事計画について、京都府からどのような説明を</p>	<p>市長 所管部長</p>

		3 いきいき長寿プランについて	<p>性は。</p> <p>(5) グリーン転換を促進する亀岡市の構築へ向けて、インフラ拡充などの優先的事業と課題はなにか。</p> <p>世界で最も高齢化が進んでいる日本では、2025年に65歳以上の約5人に1人、約700万人が認知症になると推計されている。希望ある共生社会構築を目指し、去る6月14日に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が可決成立した。本市においてもこれまで認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）や認知症施策推進大綱などに基づき共生社会の実現に取り組んできたが、現状と今後の取組について問う。</p> <p>(1) 成立した認知症基本法のポイントは。</p> <p>(2) 地域包括支援センターも市内5か所から7か所へ増設し相談窓口も増えたが、介護サービスの満足度向上につながっているか。</p> <p>(3) 生活支援コーディネーターの役割と現状は。</p> <p>(4) 認知症に対する理解を深めるための知識普及や啓発はできているか。</p> <p>(5) 認知症支援体制の整備と関係機関の連携における具体策は。</p> <p>(6) かめおか認知症カフェ「みのり」の利用状況はどうか。</p> <p>(7) 市内の介護施設サービスについて、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、またグループホームや小規模多機能型居宅介護、高齢者用住宅の充足度はどうか。</p> <p>(8) 今後、共生社会実現に向けて、認知症の人をはじめ医療、介護、交通、金融、商店など地域のあらゆる機関と住民が一緒になって地域づくりを進めることが重要であると考えるが、本市としての所見は。</p>	市長 所管部長
4	土岐 新 9月5日(火) 13:45~ ※一問一答	1 エコトピア亀岡埋立処分場について	<p>エコトピア亀岡埋立処分場について問う。</p> <p>(1) エコトピア亀岡埋立処分場の現在の状況は。</p> <p>(2) エコトピア亀岡埋立処分場の残余年数は。</p> <p>(3) 満杯になった後の計画はあるのか。</p>	市長 所管部長
		2 未熟児養育医療について	<p>本市における未熟児養育医療体制について問う。</p> <p>(1) 未熟児養育支援の現状は。</p> <p>(2) 未熟児を受け入れる体制が充分でないとの声も聞くが所見は。</p> <p>(3) さらに未熟児養育医療体制を充実する必要があると考えるが所見は。</p>	市長 所管部長
		3 交通インフラ推進について	<p>交通インフラの推進について問う。</p> <p>(1) 京都縦貫自動車道における通行料金減額の計画はあるのか。</p>	市長 所管部長

			<p>(2)本市からNE XCO西日本への要望や協議の実態は。</p> <p>(3)JR西日本との連携が求められる中、コロナ対策で減便となっていた件について、感染法上の位置づけが5類に移行となったことを踏まえ、増便の計画協議の進捗とその内容は。</p> <p>(4)多発する集中豪雨で、亀岡市が陸の孤島化し、交通インフラが利用できず、市民生活に大きな影響を与えることが心配されており、そのような市民の声を生かしきれていないと感じる。災害対応や、市民の利便性向上などあらゆる点において、NE XCO西日本及びJR西日本とさらに協議を重ね、関係性を密にする必要があると感じるが所見は。</p>	
		4 桂川右岸道路整備について	<p>桂川右岸道路整備について問う。</p> <p>(1)国道9号が慢性的な渋滞状態にあるため、宇津根町から千代川町に抜ける桂川右岸道路は重要な道路であり、また、利用者が多いことから、早急な整備が必要と考えるが、未整備区間の整備計画はどのようになっているのか。</p> <p>(2)川の駅・亀岡水辺公園も完成した。桂川右岸道路を整備してつなげることで、府道王子並河線の渋滞の緩和や、すれ違いの混雑軽減につながると思うが所見は。</p>	市長 所管部長
		5 にぎわい創出について	<p>にぎわい創出について問う。</p> <p>(1)本市では観光客の誘致に向けた様々な取組をされているが、さらに観光誘客を図るための今後の計画は。</p> <p>(2)嵯峨野観光鉄道株式会社と連携して「トロッコ列車のテーマパーク」構想の実現ができないか。</p>	市長 所管部長
		6 中学校の部活動について	<p>部活動の地域移行対策及び環境整備について問う。</p> <p>(1)働き方改革を考慮した休日の部活動の段階的な地域移行が考えられているが、現状と見解は。</p> <p>(2)部活動の向上のため、各中学校におけるグラウンドなど、より充実した環境整備の考えは。</p>	教育長 所管部長
5	法貴 隆司 9月5日(火) 14:45~ ※一問一答	1 地域課題について	<p>曾我部町西条区内の唐池については、以前は、農業用水や防火用水として活用していた。しかし、平成18年度から池の底樋が詰まり水が抜けない状況になり、現在は利用していない。西条区が草刈りなどの管理はしているが、人材不足により今後は、地元での管理が難しい状況である。また、防護柵などもなく非常に危険な状態である。</p> <p>(1)現在、利用していない唐池を埋め立て、地域コミュニティの拠点となり得る施設とし</p>	市長 所管部長

			て利活用できないか。	
	2 移住・定住について	<p>本市も他の地方自治体と同様に、人口減少と高齢化が進行している。子どもファースト宣言などの施策の効果により、社会増にはなってきたものの、自然減により人口は減少している。今後、人口を増やすには、移住・定住者を更に増加させる必要がある。</p> <p>(1)直近3年の対前年比の社会増減率と自然増減率は。</p> <p>(2)本市における空き家数と空き家率、空き家・空き地バンクの登録数、利用登録者数と前年度の成約数は。</p> <p>(3)空き家の問題解消に向け、現在2社と亀岡市空き家等解消に向けた官民連携に関する協定を結んでいるが成果は。</p> <p>(4)今後の移住・定住促進に向けた新たな取組はあるのか。</p> <p>(5)移住・定住施策で人口増に成功している自治体においては、利用者目線の発想を取り入れた地域コーディネーターや移住相談員を設置しているが、本市でも取り組んではどうか。</p> <p>(6)空き家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律が今年中に施行されるが、本市としての、支援法人制度についての方向性は。</p>	市長 所管部長	
	3 公共交通のドライバー不足について	<p>本市において、公共交通の運転手は高齢化や成り手不足が加速度的に進行している。自動車運送事業の運転手不足が地域公共交通の維持・活性化に取り組む上で深刻な影響を及ぼすことから、効果的に人材確保を行う必要がある。</p> <p>(1)新たに第二種運転免許を取得する者に対して、条件付で補助金を出してはどうか。</p>	市長 所管部長	
	4 障がい者福祉について	<p>障がい者を取り巻く環境は、社会や法律、文化などの要素が組み合わさって形成されている。障がい者が安心して暮らせるために行政は、包括的な施策を策定し、実施することが必要である。</p> <p>(1)就労支援も含めた、現在の相談・支援体制は。</p> <p>(2)大規模災害が起こった際の避難支援体制は整っているのか。</p> <p>(3)移動介護従事者の人数は足りているのか。</p> <p>(4)亀岡平和祭保津川市民花火大会において、次年度以降、障がい者エリアやトイレトレーラー設置の検討はできないか。</p>	市長 所管部長	
	5 消防団設備について	<p>消防団を取り巻く環境は災害の多発化、激甚化によりめまぐるしく変化しており、近年の地球温暖化により、台風や豪雨災害による出勤も増加傾向にある。</p>	市長 所管部長	

			<p>(1)各分団に配布しているライフジャケットの数量は十分足りているのか。</p> <p>(2)水防出動の際は、団員のライフジャケット着用を義務化してはどうか。</p> <p>(3)山間部などで、防災無線が届かない地域の課題を解決する為に、IP無線を配備すべきでは。</p>	
6	<p>梅本 靖博 9月5日(火) 15:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 中小企業への支援・活性化について</p> <p>2 篠町西山区信号機設置について</p>	<p>実質無利子・無担保のコロナ融資（ゼロゼロ融資）の返済が始まり、令和5年7月から返済開始のピークを迎えていると言われている。また、全国的に倒産件数の増加が懸念されており、一部では倒産件数が前年度比で約1.5倍になっているとも報じられている。亀岡市内にある金融機関に話を伺うと「年末までに倒産や大変厳しい判断を迫られる事業者が増えるのではないか」とのことであったが、本市の考えについて問う。</p> <p>(1)国や府に返済延長を要望する考えはあるのか。</p> <p>(2)ゼロゼロ融資の返済が滞ることを想定し、問題を解消するために本市はどのように考えているのか。</p> <p>(3)返済の見通しが立たない厳しい状況下にある事業所に対して、本市として支援する考えは。また、信用保証協会・金融機関に支援を要請する考えはあるのか。</p> <p>さらに、令和5年10月からインボイス制度が導入される。免税事業者は、今まで売り上げが1,000万円以下の場合、消費税の納入が免除されていたが、売上金額にかかわらず消費税の納入が義務化され、事業の回復を待つことなく追い打ちをかけるような形になっているが、制度を理解できないまま取り残されている事業者も少なくないと聞いている。</p> <p>(4)インボイス制度についての説明会は何回開催されたのか。</p> <p>(5)説明会の参加数は。</p> <p>(6)参加者のうち、免税事業者と課税事業者の割合は。</p> <p>(7)制度導入後の支援も必要だと思うが、本市の考えはどうか。</p> <p>(8)中小零細企業の活性化を進めるにあたり、商工会議所とは別に、経験が豊富な民間企業OBを採用し、経済産業省や中小企業庁、京都府と連携するとともに、各種給付や助成、人材確保・人材育成・継承問題など、幅広く事業を実施することができる機関を設置してはどうか。</p> <p>篠町西山区への進入路である準市道と国道9号が接している交差点は、国道9号が大きくカーブしているため、国道9号から右折して西山区に入る際、見通しが悪く交通量も多いため、簡単に右折することができない。また、西山区から右折</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

			<p>して国道9号に入る際も、交通量の多さが原因で5分以上待つことも少なくない。そこで信号機の設置について問う。</p> <p>(1) 信号機を設置するため、今までどのような関係機関と協議・交渉してきたのか。</p> <p>(2) 協議・交渉する中で、当初から課題となっていたことは何か。</p> <p>(3) その課題の解決に向けた取組は進んでいるのか。また、信号機の設置を所管する関係機関との協議・交渉の結果は。</p> <p>(4) 進捗状況などを踏まえ、地元である西山区と協議の場を持つ必要があると思うが、本市として近隣への配慮や説明は十分であったと考えているのか。</p> <p>(5) 西山区は、事業費の1割負担という高額な費用を負担することになる。市民に負担を求める以上、本市としても相当な覚悟で交渉に当たる必要があると思うがどうか。</p>	
		3 東部児童館建設について	<p>老朽化のため、東部文化センターに隣接する形で建て替えている東部児童館の建設について問う。</p> <p>(1) 現在の建物を取り壊し、同じ場所で建て替えることも可能であったと思うが、東部文化センターに隣接させた理由とは何か。</p> <p>(2) ハード面以外で、隣接させることによるメリットとは何か。</p> <p>(3) 工事の進捗状況は。</p> <p>(4) 跡地利用の計画はあるのか。</p>	市長 所管部長
		4 人権条例について	<p>南丹市をはじめ、京都府内で人権条例を制定する自治体が増えている。現在、本市も制定に向けて取組を進めている。</p> <p>(1) 人権条例の制定に向けた取組が始まった経緯は。</p> <p>(2) 個別にあった条例を一つにまとめる目的は。</p> <p>(3) 条例を制定する上での課題と制定することによる効果は。</p>	市長 所管部長
7	<p>大塚 建彦 9月6日(水) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	1 循環型社会の構築について	<p>今年度、環境市民厚生常任委員会は、長野県東御市で「生ごみリサイクルシステム」の行政視察を行った。東御市では行政、市民、民間事業者が一体となって取組を進められており、焼却ごみは40%削減、生ごみリサイクルの中で製造された堆肥も無料で市民に配布するなど、循環型社会の構築に向けた素晴らしい内容である。</p> <p>(1) 今後の本市における生ごみリサイクルに関する取組の展望は。</p> <p>(2) 子どもファースト事業の一つとして、保育園・幼稚園・こども園でおむつの提供、処理の無料化が始まった。次の段階として、公民連携などによる、おむつなどの処理事業が進められているが、事業の具体的な内容と事業</p>	市長 所管部長

		<p>2 観光資源と文化財の対応について</p>	<p>者選定の結果は。</p> <p>(3)市内事業者による園芸用の土の無料回収が始まった経緯と具体的な内容は。</p> <p>(4)令和5年4月から始まった、新しいごみの分別区分拡大の成果と課題は。</p> <p>(5)家庭ごみのふれあい収集の利用者数と利用者の選定基準、関係部署との連携の状況は。</p> <p>旧亀山城の城下町地区に残る町割りや町屋様式、惣構遺構などの文化財は、駅南地区から城下町エリアの貴重な観光資源である。亀岡市は旧亀山城の城下町地区を景観保護や観光地の散策コースに設定し、整備や維持管理に努めている。しかし、維持管理の所管が明確ではなく、どのような制度や補助金が活用できるのか不明瞭な状況である。</p> <p>(1)令和5年6月議会の一般質問で「駒札」に関する質問を行った際には、産業観光部長が答弁されたが、駒札を制作した経緯を鑑みると、教育委員会の所管であると考えがどうか。</p> <p>(2)61か所の駒札のうち、亀山城築城400年に関連して設置されたものは何か所あるのか。</p> <p>(3)毎年10月に行われる亀岡市の代表的な観光行事である鍬山神社秋季大祭の際に使用されるみこしと山鉾への補助について、どのように考えているのか。</p> <p>(4)本町の壽仙院は城下町巡りで観光客に人気のスポットであるが、隣接する亀山城の外堀に繁茂する竹やぶの手入れができていない。手入れのために活用できる補助金はあるのか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
		<p>3 高齢者支援事業について</p>	<p>令和5年8月18日付の京都新聞朝刊に高齢者支援事業の改善要請と題した一文が掲載された。身寄りのない高齢者を対象とした民間事業者のサポートをめぐり、施設入所時の身元保証や死後の葬儀などサービスが多岐にわたる一方で、契約内容を伝える重要事項説明書が作成されていないなど、トラブルにつながるおそれがあることから、トラブルを防ぐため、契約のルールなどを定めた統一ガイドラインが必要であると考え。</p> <p>(1)民間の高齢者支援事業のサービスの種類と本市における登録事業者の実態は。</p> <p>(2)本市において、高齢者支援事業のサービスに関する契約についてトラブルはあったのか。</p> <p>(3)認知症高齢者がサービスを利用する場合、窓口でどのように対応しているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 休日急病診療所の事務につ</p>	<p>亀岡市休日急病診療所は、市民にとって心強い存在である。基本的には内科と小児科の診療を行</p>	<p>市長 所管部長</p>

		いて	<p>っており、大人と子どもの比率は、およそ4対6である。令和4年度は、約1,000人の方が受診され、病気の種類は多岐にわたり、風邪・インフルエンザ・胃腸炎・発熱・咳・嘔吐・下痢が多く認められている。</p> <p>(1) 現在、診療報酬請求事務は、手書きで作業が行われており、非効率であることから、レセプトコンピュータの導入を検討してはどうか。</p> <p>(2) マイナンバーカードに保険証がひもづけられることについて、本市の見解はどうか。</p>	
8	<p>三上 泉 9月6日(水) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 原発に係る課題について</p> <p>2 北陸新幹線延伸計画について</p> <p>3 移動する権利の保障・確保について</p>	<p>東日本大震災による福島原発事故から、12年が経過したが、いまだ、故郷に帰れない方も多くおられ、原子炉の燃料デブリの取り出しがほとんどできていないなど、廃炉の見通しは立たず、ずさんな凍土壁建設で地下水の流入が止められず、汚染水の海洋投棄を始めるに至り、世界的に問題視されている。そもそも、事故が起こらなくても、原発運用による使用済み核燃料はどンドンたまり続け、リサイクルも頓挫したままである。政府は原発回帰路線を掲げて、再稼働や新規原発建設を進めようとしているが、ドイツは今年脱原発を完了させ、再生可能エネルギー全面移行を目指している。</p> <p>(1) 原発事故は日本史上最大の公害となってしまったが、環境を守り、よくすることと原発は共存できると考えるか。</p> <p>(2) 世界に誇れる環境先進都市として、原発に頼らない日本を目指し、原発ゼロ・エネルギー政策の転換を訴え、広く発信すべきではないか。</p> <p>(3) 近隣県に原発のある亀岡市として、危機管理の現状はどうなっているのか。</p> <p>北陸新幹線延伸計画に反対する京都府内の該当地域住民の理由は、環境破壊である。京都府内を通るルートを推進してきた政府与党の幹部も、利点が少ないと指摘しているが、見直しの気配は感じられない。</p> <p>(1) 北陸新幹線延伸の現計画の課題についての所見は。</p> <p>(2) 世界に誇れる環境先進都市として、北陸新幹線延伸計画の白紙撤回を訴え、広く発信すべきではないか。</p> <p>(3) 北陸新幹線延伸工事で掘り出される残土を想定した処理工場が、開校する育親学園のすぐ近くに建設される予定だが、どのような課題があると考えているか。</p> <p>J R嵯峨野線の減便に反対する市民の声、行き届いたバス交通など、公共交通網整備を求める市民の声は日増しに高まっている。また、安心して歩ける道や自転車道を求める声も多い。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

			<p>(1) 人の移動する権利について、どのように考えているか。</p> <p>(2) J R嵯峨野線減便問題の解決、地域公共交通の充実のためにも、人の移動する権利の保障について、もっと国が責任を果たすよう、市として、近隣市町や京都府と協力して、国に対して強く求めるべきではないか。</p> <p>(3) 市としても、市民の移動する権利の保障は義務的経費の取組に近いものとして位置づけて、力を注ぐべきであると考えが所見は。</p> <p>(4) 世界に誇れる環境先進都市として、脱車社会を目指すまちづくり構想が必要ではないか。</p> <p>(5) 車に頼らないまちづくりの一步として、自転車専用道や遊歩道の整備について、抜本的な強化をすべきと考えるが所見は。</p> <p>(6) 市道中矢田篠線の交通安全について令和5年6月議会でも指摘し、一刻も早い交通量調査を求めたが、実施されたか。まだなら検討はされているか。</p> <p>街路樹の根上がりにより、南つつじヶ丘の歩道は、安心して歩けないところが増えている。今も部分的な補修工事が続いているが、抜本的な対策をすべきである。街路樹を全抜去したエリアは、その後何の問題もなく、安全に利用されていると考える。</p> <p>(7) 小手先の剪定と補修でなく、根本的な対策を講じる考えはないのか。</p>	
9	<p>山本 由美子 9月6日(水) 13:00～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 命と健康を守る献血の推進について</p> <p>2 視覚障がい者の情報取得に</p>	<p>近年、日本の少子高齢化の影響により、献血ができる人口(16～69歳)が減少している。さらに、若年層(10～30代)の献血者数は、この10年で約80万人(2012年度:約251万人→2021年度:約171万人)も減少しており、献血可能人口が減少し続ける中、将来にわたって安定的に血液を確保するためには、献血基盤を支える若年層の献血者をいかに増やすかが喫緊の課題となっている。</p> <p>(1) 献血の取組と周知啓発の現状は。</p> <p>(2) 過去5年間の献血者数の状況と傾向は。</p> <p>(3) 若年層の献血者確保の取組は。</p> <p>(4) 将来の献血者となる中学生へ献血についての理解を深める取組が重要と考えるが、所管部としての見解は。</p> <p>(5) 学校教育の中で、献血の重要性を伝える機会として、日本赤十字社が実施している献血セミナーや厚生労働省が献血の普及啓発のために作成している高校生への配布用テキストなどを活用し、中学生へ献血教育を実施する考えは。</p> <p>全ての障がい者が、障がいの有無によって分け隔てられることのない社会を目指し、「障害者情</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>ついて</p> <p>3 書かない窓口の本格導入について</p>	<p>報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」が2022年5月に施行された。</p> <p>(1) 日常生活用具の中で、視覚障がい者用の情報・意思疎通支援用具の利用状況は。</p> <p>(2) 視覚障がい者の方に対する市からの公的通知や情報提供について現状は。</p> <p>(3) 音声コードUniVoice (ユニボイス) への認識は。</p> <p>(4) 本市の通知文などの印刷物に音声コードUniVoice (ユニボイス) を導入する考えは。</p> <p>本市では、2021年10月に「亀岡市デジタルファースト宣言」を行い、市民サービスのデジタルファーストとして、行政手続きのデジタル化・オンライン化を進めている。書かない窓口についても市民サービスの向上と職員の業務効率化を目的に2023年3月より試行的に実施されている。</p> <p>(1) マイナンバーカードの交付率、住民異動件数、証明書発行件数は。</p> <p>(2) 本市として日常業務などにおいて解決したい具体的内容は。</p> <p>(3) 2023年3月から市民課にタブレットを導入し、試行運用しているが、利用状況と市民の反響は。</p> <p>(4) デジタル窓口の試行運用を通じて、窓口の在り方や運用方法について、どのように検討しているのか。</p> <p>(5) 書かない窓口により、目的である市民サービスの向上と職員の業務効率化・適正化を図ることが重要と考えるが、本格導入へ向けての取組と今後の方向性として本市の考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
10	<p>竹内 博士 9月6日(水) 13:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 中山間地域の救急対応について</p> <p>2 中学校給食と食育について</p>	<p>総務省消防庁のデータによると、京都府は救急車が現場に到着するまでの所要時間が、平均7.1分と全国で最も早くなっているが、亀岡市は中山間地域も多く、到着まで時間がかかっている現状にある。</p> <p>(1) 消防署から遠い地域の一つとして、畑野町が挙げられるが、救急車の到着所要時間は。</p> <p>(2) その対策はあるのか。</p> <p>(3) 京都中部広域消防組合への要望の状況は。また、近隣市町との協定の現状は。</p> <p>(4) 各地域に医療関係者や消防関係者のOBなど、救急救命を担うボランティア組織をつくれぬか。</p> <p>(5) 秋田市は普通救命講習を幅広く普及させ、8割程度の市民が講習を受け、救命率が全国一位と聞く。本市でもさらなる講習の普及について所見は。</p> <p>本市では、2028年度を目標に中学校給食を実施する方針であり、現在は選択制デリバリー弁</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p>

		<p>3 ダブルケアについて</p> <p>4 スマートムーブとにぎわいについて</p>	<p>当など昼食提供事業に力を入れている。</p> <p>(1) 選択制デリバリー弁当の提携事業者が新しくなり、1年と数か月が経過するが、生徒や保護者の反応は。</p> <p>(2) 中学校において昼食時間が短いとの声を聞くが実態は。</p> <p>(3) 授業や部活動との兼ね合いもあるが、昼食時間を増やすことはできないのか。</p> <p>子育てと親や親戚の介護が同時期に発生する状態のダブルケア。全国的にも増えており、全ての団塊世代が後期高齢者となる2025年以降には、その子ども世代である40歳から50歳代が親の介護に直面し、ダブルケアラーが増加すると推測され、今から支援策を考える必要があると感じる。</p> <p>(1) 亀岡において、ダブルケアに該当する人の数を把握しているのか。</p> <p>(2) ダブルケアに関する相談があった場合の対応は。また、ダブルケアへの相談状況は。</p> <p>(3) ヤングケアラー支援に力を入れ始めた亀岡市として、あわせてダブルケア問題も一緒に考えていく必要があると考えるがどうか。</p> <p>環境面において、自転車はエコな乗り物として注目されている。毎日の「移動」を「エコ」にする「スマートムーブ」という取組が広がっており、環境に負担のない自転車を積極的に促進する自治体も数多くある。環境先進都市である本市としても積極的に取り入れたい。</p> <p>(1) サクリストの姿を市内でも数多く見かける。サイクリストのための拠点づくりや催しなどを考案し、本市の観光振興やにぎわいづくりにつなげる取組などの可能性は。</p> <p>(2) 現在のレンタサイクルの利用率や状況は。</p> <p>(3) 推奨するサイクリングコースやマップなど、サイクリストへ提供している情報の詳細は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
11	<p>大石 慶明 9月6日(水) 14:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 表彰制度の充実について</p>	<p>亀岡市は、第5次亀岡市総合計画に掲げる「人と時代に選ばれるリーディングシティ亀岡」に向け、着実に歩みを進めているが、これも市長のリーダーシップは無論のこと、市民の協力が大きいと思う。今後、より一層市民の協力を得るためにも表彰制度の充実を図るべきと考えている。</p> <p>(1) 現在の表彰の種類、条件、対象者の内容は。</p> <p>(2) 自治振興式典において篤志者、市政功労者(行政分野)、市政功労者(福祉・医療分野)、市政功労者(経済産業分野)等の表彰及び感謝状の贈呈がされているが、市民に分かりやすい表彰名に表現し直してはどうか。(例えば、最近創設された「かめおか環境賞」など)</p> <p>(3) 市長表彰だけではなく、個人単位で小規模な協力者に対して部長表彰などを創設し、市</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 ヤングケアラー対策について</p>	<p>政の発展に協力した人を表彰すべきと考えるが所見は。</p> <p>本年度からヤングケアラー支援体制強化事業として①ヤングケアラーコーディネーターの配置②ヤングケアラーに係る実態調査の実施③ヤングケアラーに係る研修や啓発を実施するとあるが、その取組状況について問う。</p> <p>(1) 今までの取組状況は。</p> <p>(2) 本市のヤングケアラーと呼ばれている子どもの人数は把握しているのか。</p> <p>(3) ヤングケアラーと呼ばれる子どもに「気づく」ことが対策の第一歩となる。教育の現場が一番「気づき」やすい環境であり、重要なポイントと考える。そのためにも、対策の主管は教育委員会に置くべきと考えるが見解は。</p> <p>(4) 対策を効果的に実施するには、福祉との連携が不可欠になることから、学校関係者、福祉関係者などで構成した、横断的な権限を有する特別な組織(例:ヤングケアラー支援推進委員会等)をつくるべきと考えるが見解は。</p> <p>(5) ヤングケアラー支援推進委員会を設立し、横断的な組織として運営し成果を挙げている自治体を見てきた。子どもを家事や介護から少しでも解放させる支援をしなければ公平な教育を受けさせることができない。真剣に検討すべきと考えるが見解は。</p> <p>(6) 「ヤングケアラー」の名称も負のイメージが強いと考えている。将来の希望が持てる名称に変えてはどうか。</p>	<p>市長 教員長 所管部長</p>
		<p>3 公共交通について</p>	<p>高齢化や運転免許証返納などにより、市民の移動手段は公共交通に依存する割合が年々増加している状況である。</p> <p>(1) 今年5月に公共交通対策特別委員会に提示された令和5年度における取組概要では、「地域公共交通計画の策定」が掲げられているが進捗状況は。</p> <p>(2) 過日、地域主体型交通を導入している自治体を調査してきたが、いずれも住民の献身的なボランティアにより成り立っていると考える。市としての支援の在り方を問う。</p> <p>①交通事故などが発生した場合の責任体制について、統一した考え方を提示すべきと考えるが見解は。</p> <p>②事業継続に向けた補助金制度の充実が必要と考えるが見解は。</p> <p>③スクールバスの空き時間を利用するなど、既存交通手段の利活用を検討すべきと考えるが見解は。</p> <p>(3) 地域主体型交通の利用が増加することによ</p>	<p>市長 所管部長</p>

			り、バスと地域主体型交通が混在した状態となって、さらにバス利用者が減る恐れがある。両者のすみ分けによる併用を図るなど、交通網の在り方を見直すべきと考えるが見解は。	
12	山木 裕也 9月6日(水) 15:30~ ※一問一答	1 民生委員について	<p>先般の台風でも大変尽力いただいた民生委員は、地方自治に欠かせない役割を担っていただいている。今後も、継続的に活動してもらうために市としての在り方を問う。</p> <p>(1) 本市の民生委員の定数と人員の現状は。 (2) 平均年齢は。 (3) 任期3年とされているが、直近の再任率は。 (4) 民生委員・児童委員の高齢化が進む中、児童の多様化する問題(SNSでのトラブルやいじめなど)にどのように取り組んでいるのか。 (5) 今後、民生委員・児童委員の負担軽減は考えているのか。</p>	市長 所管部長
		2 台風7号対策について	<p>先般の台風7号は、当初、線状降水帯が引き起こす集中豪雨による本市への水害が予想されていた。しかし、台風の進路変更により風台風となった。本市の台風への対応を問う。</p> <p>(1) 避難所開設についての事前調整はあったのか。 (2) 避難所の開設時間は適切であったか。 (3) 街路樹の倒木被害は何か所あったか。 (4) 倒木以外の折れた枝が道を塞ぐなどの被害の状況は。 (5) 今後、倒木及び折れ枝被害を起こさないための市の対策はあるのか。 自力で避難することが難しい人をあらかじめ把握し、避難を支援するために作成されている亀岡市避難行動要支援者名簿について問う。 (6) 自治会と民生委員・児童委員の名簿情報の共有はどのようにしているのか。 (7) 名簿情報の開示に同意していない人は何名いるのか。 (8) 情報開示に同意していない人に、同意してもらう必要があると考えるが、そのための取組は。</p>	市長 所管部長
		3 土づくりセンター帯について	<p>亀岡市土づくりセンターは、平成10年の本格稼働から約25年が経過した。老朽化による安全性や臭い漏れなどの課題について所見を問う。</p> <p>(1) 建屋の現状は。また、雨漏りなどはないのか。 (2) 異臭への対応はどうしているのか。 (3) 異臭軽減のため、家畜のふん尿持込み時に水分調整を図れないのか。 土づくりセンターに隣接し整備されている農業公園の利活用について所見を問う。 (4) 農業公園の市民の利用状況は。</p>	市長 所管部長

		<p>4 サイクルツーリズムについて</p> <p>5 亀岡の新たなスポーツ振興について</p>	<p>(5) 農業公園の利用促進についての考えは。</p> <p>(6) アグリフェスタがJR亀岡駅北周辺で合同イベントでの開催となる。これに代わるイベントとして、若者向けのアグリロックフェスなどを開催してはどうか。</p> <p>(7) 土づくりセンターで生産した有機肥料を使用して野菜作りができる、オーガニック市民農園を設置してはどうか。</p> <p>昨今のサイクリングブームとコロナ禍でのアウトドアブームとの相乗効果で、現在の自転車愛好家人口は、1,000万人以上ともされる。自転車を通じて亀岡の魅力を発信するチャンスである。</p> <p>(1) サイクリングの際に、休憩や整備のほか誰でも自由に利用できるコンビニエンスストア併設の『自転車の駅』を設置してはどうか。</p> <p>(2) レンタサイクルが運営されているが、起伏がある道でも楽しめる本格的なロードバイクや、林道などを楽しめるクロスバイクなどをラインナップに加えてみる考えは。</p> <p>(3) 川東地区の丹波七福神をめぐるサイクリングコースを活用したレースイベントなどを開催してはどうか。</p> <p>令和5年6月議会でも質問したトレイルランニングについて、その後の進展と今後の考えを問う。</p> <p>(1) かめおかまるごとスタジアム構想と連携し、亀岡市全域の山間部を使って開催する考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
13	<p>齊藤 一義 9月7日(木) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 画聖円山応挙について</p> <p>2 森林資源保全対策について</p>	<p>亀岡市曾我部町穴太出身の画聖円山応挙は、江戸中期に京の都で活躍し写生画を重視した画風が特色の絵師であり、56歳の全盛期に天明の大火により故郷に疎開し金剛寺のふすまや床の間に描いた「山水図」「群仙図」「波濤図」全てが国指定重要文化財に指定されている。現在、作品の一部は東京国立博物館に寄託されているが、損傷が激しく全面修復が必要で、修復には9年の期間で総事業費約1億7,000万円を要すると聞いている。</p> <p>(1) 修復に係る費用はどのような割合で負担するのか。</p> <p>(2) 円山応挙の知名度は低く埋もれており、新たな本市の観光資源にするべきと考える。修復にかかる9年間に記録し、ドキュメンタリーとして資料館などで発信し、円山応挙を広く知っていただくことで観光活性化に寄与すると考えるがどうか。</p> <p>2024年度から森林資源保全を目的とした「森林環境税」が課税され、1人年額1,000円が徴収される。税収は「森林環境譲与税」とし</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 農業公園のふん尿について</p>	<p>て自治体に配分されるが、納税開始に先行する形で2019年度からの3年間で全国の自治体に配分された合計約840億円の用途を国が調査したところ、間伐や木材利用促進などに使われた一方、その半分近くが基金として積み立てられている。林野庁は、森林環境譲与税活用状況として、森林整備関係を中心に取り組む市町村数・活用額共に年々増加していると公表しているが、脱炭素や災害防止などの観点からも森林保全が重要であることは明白である。しかし、「森林環境税」と聞いても何にどのように使われるのか分からない納税者が多い。</p> <p>(1)本市には先行配分として年間3千万円が配分されているが、その用途は。</p> <p>(2)森林環境譲与税は各自治体の森林面積や林業就業者数、人口基準に応じて資金が配分されるが、本市配分の試算金額は。</p> <p>(3)森林整備においては間伐材の伐採だけでなく、かめおかまるごとスタジアム構想の下、山岳レースとしてランニングやBMXなどでも利活用できるよう、林道整備にも充てるべきではないか。</p> <p>亀岡市農業公園内の亀岡市土づくりセンターでは、家畜ふん尿を搬入して堆肥化するに当たり、120日間寝かせているために悪臭が発生している。</p> <p>(1)ふん尿は別の場所に搬入し、土づくりセンター施設では間伐材の枝木や街路樹等、剪定枝や草木をバイオマスエネルギーの発電燃料にしてはどうか。</p> <p>(2)バイオマス発電稼働で発生した熱を利用して農業ハウスで野菜や果物を栽培することで、観光農園としても活用できるような、亀岡市が誇れる農業公園にしてはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 住み続けたいまちづくりについて</p>	<p>本市は土地区画整理事業による住宅の増加など、様々な対策により転出者より転入者が増えているよい傾向がある。そこで「子どもファースト宣言」を鑑みて、よりよい住空間を整え、引き続き住み続けたいまちづくりに取り組むことが必要と考える。</p> <p>(1)より良い住空間を創造するため、市街化調整区域においても区域を指定して宅地面積200平方メートル以上のキッチンガーデン付き住宅を販売し、本市らしい定住者の確保につなげてはどうか。</p> <p>平成29年12月議会でも質問したが、篠町浄法寺地域は中抜けの市街化調整区域であり、農地を維持されてきたが、高齢化により都市計画区域区分の見直し待ったなしの状況である。</p> <p>(2)篠町浄法寺地域の都市計画区域区分見直しの進捗状況は。</p>	<p>市長 所管部長</p>

14	<p>大西 陽春 9月7日(木) 10:45～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 保育現場の状況について</p> <p>2 学校給食について</p> <p>3 健康保険証の存続について</p>	<p>亀岡市が今年度から第2子以降の保育料を無料にしたことによって、保護者は保育園等を利用しやすくなったと考えるが、保育士の勤務状況や保育環境はどのようなものか、保育現場の状況について問う。</p> <p>(1) 保育現場の保育士が安心して健康に働き続けられるように、勤務時間や有給休暇取得率の把握はできているか。</p> <p>(2) 保育現場の設備更新の要望は、どのように把握されているか。</p> <p>(3) 保育士の人数に対してパソコンやカメラが少ない、エアコンや冷蔵庫・調理台など備品が古いままであると聞くと、備品の更新は適切に行われているのか。</p> <p>亀岡市の小・中・義務教育学校の給食について、「子どもファースト」の観点から、子ども中心のよりよい給食の実現を求める。食育を大切にす「学校給食」の実現について問う。</p> <p>(1) 第1回亀岡市学校給食検討懇話会の資料において、「学校給食法」についての記述はあるが「食育基本法」についての観点が抜けているため、不十分ではないかと考えるが、所見は。</p> <p>(2) 資料の「実施方式別分析表」において、主なメリットや課題の中に食育の観点や、リスク回避の観点が抜けていると考えるが、所見は。</p> <p>(3) 学校給食についての先進的な事例を参考にさせていただき、コストがかかっても子どもたちのために自校給食か小規模調理場による給食提供が好ましいと考えるが、市としての考えはどうか。</p> <p>令和5年6月議会でも質問したが、2024年秋に健康保険証をマイナンバーカードに置き換える「マイナンバー法等の一部改正法案」が可決された。保険証を被保険者に届けることは、国民健康保険・後期高齢者医療制度であれば、保険者である亀岡市の義務である。保険証を廃止して「資格確認書」を申請交付することは、国民皆保険を揺るがすものとなるかと考える。本市の具体的な対応について問う。</p> <p>(1) 国民健康保険の被保険者のマイナンバーカード取得率及び健康保険証との一体化率は。</p> <p>(2) 令和5年6月議会で「取り残される被保険者が出ないよう、きめ細やかな環境を整備する」と答弁されたが、その環境の整備は具体的にどのように行う計画なのか。高齢者施設への現状調査や聞き取りが必要と考えるが、計画しているのか。</p> <p>(3) 高齢者、疾病者、独居者等が、安心して保険による受診ができるように、これまでどお</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
----	--	--	---	--

		<p>4 障がい者の支援について</p> <p>5 育親学園の開校について</p>	<p>り亀岡市が保険証を出すようにすべきと考えるが所見は。</p> <p>(4) 国に対して「保険証の存続」を求めるべきと考えるがどうか。</p> <p>「合理的配慮の提供」は、これまで行政機関等は義務、事業者は努力義務とされていたが、改正法により、令和6年4月1日から事業者も義務化される。亀岡市における障がい者への配慮について問う。</p> <p>(1) 合理的配慮の提供について問う。</p> <p>① 公用車のバスを車椅子でも簡単に乗り降りできるリフト付きのバスにすべきではないか。</p> <p>② 障がい者が、より亀岡市総合福祉センターを利用しやすくなるよう、近隣にある市立図書館中央館の駐車場を活用し、障がい者等用駐車スペースを増やすことはできないか。</p> <p>(2) 新資料館や文化ホールなど、亀岡市の新たな公共施設の設計について問う。</p> <p>① 設計段階で障がい者の意見が反映できるように、検討委員会等に障がい者の参加を考えるべきではないか。</p> <p>育親学園の開校に伴う、地元住民への説明について問う。</p> <p>(1) 校舎が完成していない段階で開校することに対する疑問の声を聞くが、そういった意見について認識しているのか。</p> <p>(2) 育親中学校を育親学園として使用するための改修計画について問う。</p> <p>① トイレや洗面所、遊具等を児童に合わせて改修する計画はあるのか。</p> <p>② 職員の増加に伴う職員室の改修や休養室の整備計画はあるか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
15	<p>富谷加都子 9月7日(木) 13:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 シルバーeスポーツについて</p>	<p>シルバーeスポーツは、シルバー世代の方が、デジタルの活用によりコンピューターゲームで競うものである。性差を問わず、年齢差や身体に不自由があっても参加でき、認知機能の維持や改善にも注目されている。新たな介護予防施策の選択肢の一つとして、シルバーeスポーツ事業の導入について問う。</p> <p>(1) 世代を問わずeスポーツを推進することについて、本市の考え方は。</p> <p>(2) eスポーツを高年齢者介護予防の選択肢として活用すべきと考えるがどうか。(シルバーeスポーツを導入した際に想定されるメリットとデメリット)</p> <p>(3) 高齢者支援にeスポーツを取り入れる方法として、民間企業との連携や協力は考えられるか。</p> <p>(4) eスポーツを身近な通いの場に取り入れることで関心事のツールが増える。例えばスマ</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 奨学金返済支援制度について</p>	<p>ホ教室とのコラボや、事前に体操を取り入れることなどにより、参加・交流の創出を図れると考えるがどうか。</p> <p>奨学金返済支援制度は、若者の支援として有効な手立てと考える。要件をスリム化し、人材確保や移住・定住促進の取組を進めるべきである。</p> <p>(1) 国は、専業主婦家庭が利用できる保育サービスの整備を求めている。自治体において保育士の確保や定着は喫緊の課題であり、保育士確保に特化した保育士奨学金返済支援制度を導入し、保育士の人材不足の解消を図るべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 既婚者に対しての支援はあるが、未婚の若者に対しての取組が少ないとの声を若者世代からよく聞く。移住・定住促進を未婚の若者へアピールする策として、「若者を応援！奨学金返済支援制度」を導入する考えは。</p> <p>(3) 転出が多い大学卒業時に特化した奨学金返済支援制度を導入し、本市の定住や転入を促す考えは。</p> <p>(4) 市内に新規参入される事業所に、就労・奨学金返済支援一体型支援事業を推進すべきと考えるがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 成年後見制度について</p>	<p>判断能力が不十分な人の権利や財産を守るため、本人に代わり財産管理や福祉サービスの手続きなどを行うのが成年後見制度である。今後、認知症高齢者の増加や単身世帯の高齢者の増加が見込まれる中、ますます成年後見制度の利用の必要性が高まる。</p> <p>(1) 本市の認知症の方（要介護認定において認知症高齢者の日常生活自立度がランクⅡ以上の方）の直近の推移は。</p> <p>(2) 高齢者のひとり暮らしの人数の状況は。</p> <p>(3) 知的障がい者の人数の状況は。</p> <p>(4) 精神障がい者の人数の状況は。</p> <p>(5) 成年後見制度についての相談窓口は、地域包括支援センター、高齢福祉課、亀岡市社会福祉協議会等で対応している。相談件数の推移と、そのうち本制度を利用された件数は。</p> <p>(6) 成年後見制度利用支援事業の利用人数の状況は。（市長申立て、報酬の助成）</p> <p>(7) 亀岡市社会福祉協議会の日常生活自立支援事業により、日常的金銭管理の支援を利用している人数の状況は。</p> <p>(8) 令和4年に、権利擁護に係る相談窓口を集約化・明確化し、各種支援機関に安心して相談できる中核機関が設置されている。中核機関の事業内容の詳細は。</p> <p>(9) 中核機関が各関係機関から相談を受けた中で表面化した課題はあるか。</p> <p>(10) 本制度が必要な方に届くように、戸別の</p>	<p>市長 所管部長</p>

			<p>啓発チラシ配布や、地域単位の講習会開催などを行う考えは。</p> <p>(11) 担い手の確保として、後見人や市民後見人を育成する取組はあるか。</p>	
16	<p>小林 仁 9月7日(木) 13:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 インフラ整備事業について</p> <p>2 亀岡市の農業の未来について</p>	<p>インフラ整備は安全・安心な生活が営まれる基礎と考える。平成30年7月豪雨後の河川復旧計画、道路側溝の不備について問う。</p> <p>(1) 畑野町大路次川については、平成30年7月豪雨により甚大な被害があり、復旧と改善が待たれるところである。特に護岸においては、低く荒れた状態の箇所もある。優先順位があることは承知しているが、先の見えない状態では住民の不安は募るばかりであるため、計画を示すべきと考えるが所見は。</p> <p>(2) 府道天王亀岡線（本梅町西加舎巖石）の側溝マスが明らかに小さく、上部に落ち葉と枯れ枝が積もり、雨水が道路にあふれる。令和5年度府民協働型インフラ保全事業を要望したが、現地調査が必要であるため保留となった。側溝の落ち葉や枯れ枝の掃除は、この道路に隣接するソーラー発電業者が、2日から3日に一回確認するために大阪から出向いた際に行っているとのことである。現況の改善に向けて所見は。</p> <p>(3) 府道天王亀岡線（本梅町西加舎大畑）の側溝を流れる雨水の流末処理工が素掘りとなっており、浸食により荒れ放題となっている。側溝の排水処理として側溝マスを設けるのではなく、底を抜き、ヒューム管につなげている状態である。府道天王亀岡線が完成して足かけ半世紀になるが、側溝の雨水処理が今の状態になった経緯を知る人がいないのが現状となっている。平成30年7月豪雨では、素掘り溝を越水して隣接する溜池（大畑池）に土砂の流入被害を起こした。また、用水路にもつながっており、農地保全のためにも治水対策が必要であると考えが所見は。</p> <p>(4) 令和6年度より育親学園が開校するが、亀岡市西部地区の3小学校区が1つの校区となる。これは新たなまちづくりである。夕方、夜間における児童生徒・市民の安全及び防犯被害の未然防止を図るために防犯灯の設置が必要と考える。特に中学生は夕方の帰宅となることもあり、優先して通学路に設置すべきであると考えが所見は。</p> <p>亀岡市の農業の未来について問う。</p> <p>(1) 本市では有機農業の推進を通じて農業に由来する環境負荷の低減を図ることにより、持続的な農業に資することを目的としてオーガニックビレッジ宣言が行われた。有機栽培、自然栽培を目指す新規就農者も増加傾向にある。そういった中で、オーガニック・自</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

			<p>然農法の新規就農者が持続可能な農業を経営するには、地域において認知されることが必要であり、新規就農者と既存農家、オーガニック・自然栽培と慣行栽培がお互いを知り、理解する必要があると考える。その方策として、それぞれの農産物の食べ比べを行い、話をして栽培方法の違いを理解する。例えばオーガニック・自然栽培で草刈りをしないことに対し、慣行栽培を行う既存農家は草刈りをして欲しい願いがある。このような思考の行き違いは、会話をすることで解決できると考えられる。コミュニケーションの場を求める新規就農者もいると聞く。「亀岡市有機農業推進実施計画」において新規就農者に加えて既存の農家の有機農業への転換を支援するとある。コミュニケーションの場をつくるのがオーガニック・自然栽培農家を増やし、亀岡市の農業の未来をつくと考えるが所見は。</p> <p>(2) オーガニックビレッジ宣言に、重点品目のブランド化とあるが、その方向性を問う。本市は京野菜の一大生産地であり、京の台所の自負があるが、ブランド化となると疑問がある。効率よく大量生産できるF1種は便利であるが、全国どこでも同じ野菜が栽培されて、その地の個性がないのが現状である。F1種を否定するものではないが、流通本位、食品業界本位の食になっている。差別化を図り、その地の特産品を目指すなら、固定種や在来種の種取りをして、その畑の土で採れた野菜を来年も同じ場所で栽培するとその場所独特の野菜になると言われている。その地域ならではの食文化の育成もブランド化と考えるが所見は。</p>	
	3 令和6年開校の育親学園について	育親学園の開校まであと6か月となり、注目を集める中での成果を期待する。	<p>(1) 「子育て」と似た言葉で「子育て」という言葉がある。子は自分で吸収して成長する力があり、周りはそれをサポートするという趣旨の考えである。その力を生かし、全国学力テストでの目標を定め、個々の力を伸ばし、次代の人材育成を考えてはどうか。</p> <p>(2) 育親学園の校区においては、体験学習として農業体験を実施され、田植え時には教職員の方も田んぼに映る山々の自然環境の学習に感動されていた。今後は農業体験に加えて食育にもオーガニックを取り入れてもらいたいと願うところである。地域も本腰を入れ、教職員もオーガニックを学ぶことが必要となると考えるが所見は。</p>	教育長 所管部長
17	原野実生子 9月7日(木)	1 産み育てやすい環境について	令和5年3月議会において、市長から、周産期医療センターの必要性やニーズを承知されてい	市長 所管部長

	<p>14：45～</p> <p>※一問一答</p>	<p>て</p> <p>2 亀岡市立病院について</p> <p>3 陣痛タクシーについて</p>	<p>ると伺った。本市における周産期医療の現状を問う。</p> <p>(1) 周産期医療の具体的ニーズの把握状況は。</p> <p>(2) 周産期医療センターの誘致について、現時点の可能性は。</p> <p>子どもファースト宣言の内容について問う。</p> <p>(3) 南丹保健所とBCome+の連携状況は。</p> <p>(4) 子どもファーストの推進に当たり、本市に保健所がないことによる弊害は。</p> <p>(5) 生活保護、ひとり親家庭医療など他の制度の対象となる場合はこども医療費の対象とならないと広報されているが、受給者証はどうなるのか。</p> <p>亀岡市立病院について問う。</p> <p>(1) 亀岡市立病院の経営の現状は。</p> <p>(2) 小児科の診療の現状は。</p> <p>陣痛タクシーについて問う。</p> <p>(1) 陣痛タクシー事業の概要は。</p> <p>(2) 本事業の利用実績は。</p>	<p>病院事業管理者 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
<p>18</p>	<p>平本 英久 9月7日(木) 15:30～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 保津川市民花火大会について</p> <p>2 子育て環境や制度の拡充について</p> <p>3 本市の道路行政や交通手段について</p>	<p>昨年(2019)の亀岡平和祭保津川市民花火大会では帰路の混雑など様々な課題や反省点が散見されたが、今回の花火大会を終えて本市として現在の考えについて問う。</p> <p>(1)本市として花火大会を終えてどのように考えているか。</p> <p>(2)今回の花火大会における経済効果や事業の成果は。</p> <p>(3)今回の花火大会では歓迎する声がある一方で批判の声があるが、見えた課題や改善点は。</p> <p>これまでも子どもファースト宣言に基づき、子育て環境の整備や様々な子ども政策に取り組んできたが、今後さらなる支援の拡充や本市として目指す未来について問う。</p> <p>(1)新たに18歳までのこども医療費が9月診療分から無償となるが、具体的にどのようなものか。</p> <p>(2)本市における待機児童並びに潜在的待機児童の現状は。</p> <p>(3)幼稚園や保育園並びにこども園等の体制整備が図られると聞くが、具体的な内容は。</p> <p>(4)本市の目指す子どもを取り巻く環境整備や子育て支援の在り方について、子どもファースト宣言を基軸としてどのように考え、今後どのように推進していくのか。</p> <p>住環境や社会を取り巻く情勢の変化等により日々変わっていく交通安全対策等の道路行政や高齢化に伴う公共交通等の移動手段の確保は市民生活に密着した課題であるが、今後の本市の</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 環境政策の取組について</p>	<p>考え方について問う。</p> <p>(1) 篠町内で道路整備が進められている市道馬堀停車場篠線の現状と進捗はどうか。</p> <p>(2) 篠町西山区における国道9号と準市道との交差点の信号設置は地元の長年の懸案事項であるが、本市の考え方は。</p> <p>(3) 篠町王子区から要望されている市道堂山線の付け替え工事並びに国道9号王子交差点の改良の見通しは。</p> <p>(4) 西つつじヶ丘で再整備が計画されている市道つつじヶ丘87号線の進捗は。</p> <p>(5) 地元から要望のある西つつじヶ丘美山台1丁目へのコミュニティバスの乗り入れであるが、実現に向けての本市の考え方はどうか。</p> <p>環境先進都市を目指す本市として、ごみの減量や使い捨てプラスチックごみゼロ等に取り組んできたが、その成果や今後新たに取り組む環境政策について問う。</p> <p>(1) これまで民間企業とかめおか未来づくり環境パートナーシップ協定等を結び様々な環境政策に積極的に取り組んできたが、成果や実績は。</p> <p>(2) 民間企業と連携した環境政策は重要と考えるが、今後新たに取り組む事業は検討しているのか。</p> <p>(3) 亀岡平和祭保津川市民花火大会における臨時給水スポットの設置を令和5年6月議会で要望していたが実現されたのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
19	<p>福井 英昭 9月8日(金) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 まちづくり行政について</p>	<p>市街地の里道の中には、農業用としても歩行路としても用をなさなくなったものが散見されるが、この用をなさなくなった「特別な里道」の管理について問う。</p> <p>(1) 里道については、地元自治会や区、住民組織、もしくは受益者が管理するということの間違いはないか。</p> <p>(2) 里道を整備する場合、自治会等からの申請で整備費の半分を補助するという間で間違いはないか。また、その申請と実施状況は。</p> <p>(3) 受益者がいなくなり、自治会や区で手に負えない里道があるが、現状のまま放置し続けなければいけないのか。</p> <p>(4) 用をなさなくなった里道の中でも、特に歴史的価値などがある場合、これを有効に活用して整備することはできないか。</p> <p>(5) 小規模な住宅開発などで用をなさなくなる可能性がある里道について、開発と管理が連携して、先に払い下げるなどの措置が今後は不可欠と考えるが所見は。</p> <p>余部町風ノ口には、旧曾我谷川の廃川敷があり、過去に現状の直線的な河道にするために工事</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>

		2 環境行政について	<p>を請け負っていただいた方々が、この廃川敷上に住まわれている。</p> <p>(6) 民地ではあるが管理が不十分で、ここにお住いの方々の不利益となっているが、解決方法はないのか。</p> <p>昨年、市の魚、アユモドキが保津川に放流された。今後、ほ場整備工事の終了を待って、曾我谷川上流部の中山川との合流地点にアユモドキを放流する計画がある。</p> <p>(1) 環境省が主体の放流であるが、市としての所見は。</p> <p>(2) 地元への予告や説明がなく、相談さえもない中で、中山川への放流が計画されており、地元では誰も知らなかった。この点、私は大変遺憾に思うが所見は。</p>	市長 所管部長
20	<p>木村 勲 9月8日(金) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 国道9号の災害時の対策について</p> <p>2 ガレリアかめおか周辺整備について</p>	<p>国道9号は亀岡市民にとって京都市への重要な生活道路であり、大雨や大雪により通行止めとなれば、亀岡以北は陸の孤島となる。先般の台風7号により老ノ坂峠は連続雨量が230ミリメートルに達したため、8月15日夜から16日午前10時まで通行止めとなった。また、沓掛インターチェンジについても同じく午前9時15分まで閉鎖され、長岡京インターチェンジの降り口も大渋滞であったと聞く。大雨で通行止めになる国道9号の対策について問う。</p> <p>(1) 老ノ坂峠が通行止めを行う通行規制対象雨量230ミリメートルという基準は、どのように決定されているのか。</p> <p>(2) 通行規制対象雨量230ミリメートルという基準を見直すことはできないのか。</p> <p>(3) 亀岡以北を陸の孤島にさせないための今後の対策について、どのように考えているのか。</p> <p>6月21日の京都新聞において、余部町にある農業研究機関「農林センター」を綾部市の「畜産センター」敷地内に移転することを京都府が決定したと報道があった。その移転は早くても数年先であるが、ガレリアかめおかの近くで約6ヘクタールの土地が空き地となる。ガレリアかめおかの駐車場も手狭であり、文化ホール建設の構想もある中で、周辺の整備・開発について問う。</p> <p>(1) この機会にガレリアかめおか周辺の大規模な整備について計画しているか。また、現在計画していない場合でも将来的な構想はあるか。</p> <p>(2) ガレリアかめおかの駐車場は、イベントのたびに車があふれて駐車できない状態であるが、今後どのように考えているのか。</p> <p>(3) 昨年12月27日に、亀岡市における文化施設のあり方を考える懇話会から、市長に対し懇話会での意見交換の内容が報告され、4</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>

		<p>3 JR並河駅周辺の整備について</p> <p>4 保津川市民花火大会について</p> <p>5 保津川下りの状況と支援について</p>	<p>回にわたる懇話会の意見を取りまとめた「提言書」が提出された。市長は一定の方向性を検討していくと回答されたが、今後の構想について所見は。</p> <p>現在のJR並河駅は、平成元年3月に千代川駅寄りに駅舎を200メートル移転し新築されたものであり、旧駅舎跡地は鉄道歴史公園として整備され、新幹線0系電車の先頭車両の運転台部のカットボディとDD51形ディーゼル機関車が展示されている。駅舎の移転から34年余りが経過した中で、周辺整備について問う。</p> <p>(1)本市の都市公園である鉄道歴史公園では、先般新幹線の先頭車両はペンキが塗り替えられたが、ディーゼル機関車はさびがひどい状態である。今後の整備予定はどうか。</p> <p>(2)本年6月議会で要望したが、鉄道歴史公園の入り口に防犯カメラを設置し安心して通ることのできる場所にするこゝで、駅までの通勤や大井小学校の通学路として活用してはどうかと考えるが、所見は。</p> <p>(3)地元から要望されている府道王子並河線JR大井踏切の拡張について、現在の対応状況は。</p> <p>8月11日に開催された第72回亀岡平和祭保津川市民花火大会の結果について問う。</p> <p>(1)今回の花火大会における有料観覧チケットの販売結果は。</p> <p>(2)亀岡市民割引席の販売や、保護者が同伴する場合の市内の子どもに対する優待サービスの成果は。</p> <p>(3)昨年の教訓を生かした警備体制の結果は。</p> <p>7月17日に運航が再開された保津川下りについて、本年6月議会で予算化された保津川下り運航再開市民応援キャンペーン事業の進捗状況と今後の支援について問う。</p> <p>(1)保津川下り運航再開市民応援キャンペーン事業費として計上された400万円のうち、乗船補助375万円の利用状況と、安全対策PR経費25万円の活用内容は。</p> <p>(2)保津川下りを応援するふるさと納税型クラウドファンディングの進捗状況は。</p> <p>(3)本市における今後の保津川下りへの支援と指導について、所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
21	<p>西口 純生 9月8日(金) 13:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>亀岡市のにぎわいと活性化のうねりを起こすための提案も含め、市長の政治姿勢を問う。</p> <p>(1)9月8日からラグビーワールドカップ2023フランス大会が開催され、日本代表の活躍が期待されるが、そのワールドカップに出場した選手が出場する試合を亀岡市で見られるチャンスが到来している。2024年か</p>	<p>市長</p>

		<p>2 防災・減災のため池管理について</p>	<p>ら2026年までの3年間、日本各地で国際試合が実施されることになり、日本ラグビーフットボール協会が、スタジアムを有する自治体から実施の希望を募ることになった。これは、亀岡市のスポーツ振興とにぎわい創出、地域の活性化、知名度アップに貢献できるよい機会であると考えます。</p> <p>①亀岡市ラグビーフットボール協会は、京都スタジアムで国際試合を実施するため、公募に手を上げるつもりであるが、亀岡市の誘致に対する考えは。</p> <p>②亀岡ラグビースクール出身である背番号12番の長田智希選手をはじめ、京都府出身の選手3人がワールドカップ日本代表として選出された。国際試合の実現に向け、努力していきたいと考えており、亀岡市には応援と支援の協力をお願いしたいと考えるが所見は。</p> <p>③亀岡運動公園競技場の照明設備が整備されたことで、国際試合の際に必要であれば、サブグラウンドとして活用することができるようになった。そこで、スタジアムまでの送迎や、スタジアムの利用日程の調整など、府市一体となって、協力と支援をしていただきたいと考えるが所見は。</p> <p>(2) 昨年の一般質問で紹介したが、公共機関の人材不足が進む中、人材を確保するための支援の一つとして、「奇跡のまち奈義町」の奨学金制度の導入を検討すべきであると考えます。</p> <p>①亀岡市の公共機関に就労する方や社会貢献しようとする方を奨学金で支援するため、返済の減免も含め、制度の導入を検討してはどうか。</p> <p>②減免であれば、亀岡市への貢献度に応じて、柔軟に減免率などを設定できる。学びやすい環境をつくるためには、経済的支援が必要であると考えます。</p> <p>防災・減災の観点から、国もため池の重要性を認識し、効果的なため池対策の在り方を検討している。令和4年9月議会で質問した保津町の谷山池管理システムの対応に関する答弁などによって明確になってきた、3年後から発生する管理費の負担について問う。</p> <p>(1) 現在の谷山池のため池の貯水量は何トンか。</p> <p>(2) 管理費について、保津町自治会との話合いの結果はどのようなになったのか。</p> <p>(3) 防災の観点から、管理者に監視システムの整備をお願いしてきた。管理者として、どのように考えているのか。</p> <p>(4) 地元は、谷山池を防災用のため池と位置づ</p>	<p>市長 所管部長</p>
--	--	--------------------------	---	--------------------

		<p>3 簡易水道行政について</p> <p>4 地域課題について</p>	<p>けており、公共事業としての意味合いが強いことから、自治会として管理費を負担することは考えていない。その場合、3年後に監視システムを撤去することになるのか。</p> <p>人が生活する上で、最も重要なものとして水が挙げられる。古くから水を守るために、たくさんの方が関わってこられた。近年は、簡易水道事業によって利便性を図ってきたが、これも時代の流れによって、上水道事業に統合され、その姿を消そうとしている。</p> <p>(1) 簡易水道の歴史には、語り尽くせないほどの苦勞があったと聞いており、次世代の子どもたちに伝承していく必要がある。その記録を冊子として、全戸配布で知っていただくべきだと考えるがどうか。</p> <p>(2) 冊子を作成するにあたっては、協議会を構成し、関係者で検討する中で、充実したものにできればと考えるがどうか。</p> <p>地域課題について問う。</p> <p>(1) 河原林町勝林島下島区の側溝整備は、20年前から要望しているが、優先順位をつけて整備すると言っばかりで一向に進まない。この事業の優先順位は何番なのか。早急に対応していただきたいと考えるがどうか。</p> <p>(2) 千歳町の中谷川の水路整備事業について、今後の整備計画は。</p> <p>(3) 七谷川の天井川部分の底上げ改修工事について、昨年度までの総工費は12億6,000万円、本年度完了すれば、15億6,000万円分進捗する予定であると聞いているが間違いないか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
22	<p>松山 雅行 9月8日(金) 13:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 JR千代川駅の整備について</p> <p>2 通学路の安全対策について</p>	<p>平成25年3月に亀岡市バリアフリー基本構想(千代川駅周辺地区)が策定されて以降、本市はJR嵯峨野線千代川駅整備促進協議会の皆様と連携し、駅東のロータリーや東西のバリアフリー化などに鋭意取り組んでいただいている。整備進捗と今後について問う。</p> <p>(1) 東西自由通路の整備進捗は。</p> <p>(2) 誰もが自由通路から改札を利用しやすくするための動線確保は。</p> <p>(3) 駅舎改装についての所見は。</p> <p>市道南金岐土田線(市道川関小林線との接続部分より南側)は、通学路にもなっているが、通学途中に児童生徒が車と接触した事案や溝にはまってけがをした事案もあると聞く。昨年、地元自治会からの要望を受け、まずは側溝工事から整備いただいているが、今後の具体的な安全対策について問う。</p> <p>(1) 地元自治会や関係機関との協議状況は。</p> <p>(2) 今後予定している安全対策は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 広域行政について</p>	<p>隣接する市町との広域連携や協力は、本市の今後のまちづくりや経済活性化の進展のみならず、お互いの行政課題や地域課題を解決し、持続可能な行政運営につなげることにより、誰もが快適に安心して暮らすことのできるまちの実現に寄与するものと確信している。市長もこの間、阪神地域とのネットワーク強化に尽力されてきたが、本市の広域行政について問う。</p> <p>(1) 国道423号の法貴バイパス整備完了後の、本道路を基軸とした阪神地域との連携発展のビジョンは。</p> <p>(2) 災害時相互応援協定を結んでいる市町と防災訓練を実施する考えは。</p> <p>(3) 災害時に市職員が着用する防災服はあるのか。</p> <p>(4) 消防西部分署について、協議の進捗は。</p> <p>(5) 有害鳥獣の通常捕獲において、府域を越えて狩猟規制を緩和すべきと考えるが所見は。</p> <p>(6) 各市町の猟友会から精鋭部隊を組織して捕獲に当たることを隣接市町に提案できないか。</p>	<p>市長</p>
		<p>4 教職員の働き方改革について</p>	<p>本市は、令和3年10月8日にデジタルファーストを宣言して以来、各分野でAIやICTを活用し施策を推進している。今後の学校現場における教職員の業務負担と保護者の利便性向上について問う。</p> <p>(1) 保護者から、学校への児童生徒の欠席連絡をもっとスムーズにできないかとの声を聞くが、学校現場では、朝の欠席連絡やスクールバスの連絡について、どのように対応しているのか。</p> <p>(2) 全国的に教育現場でも広がりつつある「連絡アプリ」を導入し、教職員が授業の準備や児童生徒と触れ合うことができる時間の確保につなげていけないか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>